

科目名	書道2	科目ナンバー	CL-JC1152-LWJ			
担当者 (実務経験名)	教授 桐生 直代					
履修期	1年後期	卒業単位	選択 1単位			
免許・資格	中学校教諭二種(国語)必修・司書教諭必修					
授業概要	書道の理論と実技をとおして、文化と伝統を尊重する態度を育む。 中学校国語科書写教育について学び、文字教育ができるようになる。					
到達目標	知識・理解	書道の基本的な知識と技法について理解し、書写教育に反映させることができる。				
	思考・判断	文字の特質と書写教育について考察することができる。				
	興味・意欲・態度	理論を実技に生かすことができるよう積極的に取り組み、作品に反映させることができる。				
	技能・表現	実技に必要な技術を身につけ、表現することができる。				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容		時間 (時間/週)	
	1	オリエンテーション 文字の特質と中学校書写教育について	【事前】書写や書道今まで学んだことについて考えてくる。		1	
	2	楷書① 楷書の筆使いと基本点画	【事後】課題をする		1	
	3	楷書② 楷書の字形とその要素 基礎	【事後】課題をする		1	
	4	楷書③ 楷書の字形とその要素 発展	【事後】課題をする		1	
	5	行書① 行書の特徴	【事後】課題をする		1	
	6	行書② 行書の筆使いと字形 基礎	【事後】課題をする		1	
	7	行書③ 行書の筆使いと字形 発展	【事後】課題をする		1	
	8	漢字と仮名の調和① ひらがなの基本	【事後】課題をする		1	
	9	漢字と仮名の調和② 文章を書く	【事後】課題をする		1	
	10	年賀状の作成 練習	【事前】下書きを書いてくる		1	
	11	年賀状の作成 完成・鑑賞会	【事前】練習をしてくる		1	
	12	創作① 書の表現を考える	【事前】下書きを書いてくる		1	
	13	創作② 完成させる	【事前】練習をしてくる		1	
	14	創作③ 鑑賞会	【事前】課題をする		1	
15	まとめ	【事前事後】今まで書いたものを整理する		1		
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○			40%
	課題	○	○		○	30%
	実技	○	○	○	○	20%
	受講状況・態度 その他()			○		10%
フィードバックの方法	課題・作品は添削をして返却します。					
教科書	全国大学書写書道教育学会編『国語科書写の理論と実践』(萱原書房、2020年)					
参考書	授業中に紹介します。					
アクティブ・ラーニング	課題や作品を互いに評価する活動を取り入れます。					
ICT活用	書画カメラを使い、運筆などを指導します。 筆順アプリなどを使い、書写教育に応用できるようにします。					
メッセージ・備考	筆などは自己負担になります。道具の購入については、1回目の授業で説明します。 授業では毛筆をしますが、授業内容に関連する硬筆課題を課します。					
関連科目	書道1 国語科教育法					